

尚徳寮

令和2年6月30日

鳥取大学附属中学校

No. 3

学校の「新しい生活様式」の定着に向けて

○「新しい生活様式」という言葉をよく聞くようになりました。学校においても、新型コロナウイルス感染症への感染リスクを可能な限り低減しつつ、教育活動を継続して学びを保障するために、「3つの密の回避」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」等、基本的な感染対策を継続する「新しい生活様式」を定着させていくことが喫緊の課題となっています。

○附属中でも、鳥取県から提示された指針を基に、感染リスクの高い教科活動や部活動を対策を行った上で、実施しています。具体的には、多くの教科で行う班単位での「グループワーク」では、従来のように机をつけるのではなく、真ん中に空間ができる配置にしています。音楽の「合唱」は、音楽室のピアノを移動し、生徒同士の間が1メートル以上となるようなスペースを確保しました。また、生徒が下校した後に、職員でドアノブ等生徒がよく触る所の消毒を継続しています。



○部活動についても、通常の活動を再開しており、6月6日以降は練習試合等も始めています。全国大会、中国大会、県中総体などの中止が正式に決定され、それぞれの大会が中止となってしまったことは、それらを目標にこれまで頑張ってきた生徒の皆さんにとっては、大変残念だったと思います。そこで、特にこれまで中心となって頑張ってきた最終学年である3年生の気持ちに伝えたいという思いから、部活動の成果発表や節目の場として、何らかの形で大会を行うことができないか検討され、7月下旬に東部総体が実施されることになりました。今できる精一杯のプレーを期待しています。

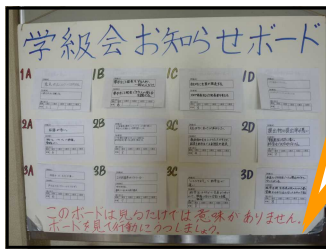
○さて、歴史を振り返ってみると、今回のコロナによって引き起こされたようなパンデミックと言われる感染爆発は、社会全体が変革していくきっかけ（触媒）の役割も果たしてきたそうです。14世紀に流行したペストはヨーロッパだけで7千5百万人がなくなったと言われていますが、病気の感染拡大を止めることができなかつたとして教会の権威の失墜を招き、結果的にルネッサンスに繋がったと考えられています。また、約100年前に流行したスペイン風邪はその後新しい薬の開発に大きく寄与したそうです。今回のコロナウイルスについても、①人との間隔はできるだけ2メートル（鳥取県は1メートル）開ける身体的距離の確保②マスクの着用③手洗いなどの「新しい生活様式」を身につけることが全ての人に要請されています。また、テレワークやオンラインでの会議など働き方の新しいスタイルも急速に社会に普及するきっかけとなりつつあります。

○小玉校長が以前集会で話したように、生きていく中で私たちは様々な「未知の課題」にぶつかります。その時、これまでの「知識」・「技能」・「経験」など、ありとあらゆるものを使って、周りの人と協力しながら、課題を克服していく力が求められます。附属中では、このような力のことを「やりくりする力」と呼んでいます。授業はもちろんのこと、学校生活の様々な場面で、「新しい生活様式」を身につけながら、「やりくりする」ことが生徒の皆さんに求められます。将来、良識ある市民として、社会で生きていく自分の姿を思い浮かべながら、今を生きていって欲しいと思います。

生徒会 Connectする活動を継続しています。

前期生徒会活動として5つのConnectする活動を行っています。現在実施している活動を紹介します。

【Connect される附中】学級会・生徒委員会



全クラスの学級会の内容をボードにまとめ、生徒玄関に掲示しています。

【心と心を Connect させる】あいさつ運動



ボランティアでの参加も増え、執行部と共に、元気に活動しています。

【生徒全員と生徒全員が Connect する】活動

Connect~世界と私~

高取大学附属中学校 前期生徒会通信 第2号 2020年 5月 8日発行

Connect~世界と私~

この号では、コロナ禍の現状を踏まえ、新しい生活様式の実践について、生徒会が取り組んでいる活動を紹介しています。

そこで今回は、原の中で簡単にできるストレッチを皆さんに紹介したいと思います!!

- 1 肩甲骨を広げながら前屈と後屈をゆっくり繰り返す
- 2 つま先立ちスクワット
- 3 腹式呼吸

お腹に手を乗せ「ドクドク」と音を感じられるくらいが最も効果的な呼吸です。

みんなで のりこえよう!!

発行所: 高取大学附属中学校 生徒会 発行: 2020年5月8日

生徒会新聞 学校であったことや時期に合わせて生徒に考えて欲しいことを配信しています。この号ではコロナに負けないで「みんなでのりこえよう」と呼びかけています。

火災を想定した避難訓練実施

6月17日(水)火災を想定した1回目の避難訓練を実施しました。ねらいは、非常の際、機敏かつ安全に避難する仕方を体得することです。火災では、ハンカチを口にあて、低い姿勢で避難することが大切であることを指導しました。生徒たちは教員の指示に従い静かに迅速に行動できていました。

なお、昨年小中合同で行った引き渡し訓練については、少なくとも夏休みまでは、授業時間を確保するため実施しません。秋以降に実施するかどうかは、コロナウイルスの感染状況等を踏まえ後日決定したいと考えています。ご了解いただきますようお願いいたします。



教育懇話会 執行委員会・役員会を開催しました。

教育懇話会の執行委員会・役員会を、6月4日(木)に開催しました。執行委員会は5月14日にオンラインで開催しており、今回が2回目となります。学年役員会、専門部役員会は今回が初めてとなりました。コロナウイルス感染防止の観点から、学年ごと、専門部ごとに会場を分けたり距離を取ったりして開催しました。

学年役員会では、学年長の選出、専門部所属決め、学年の集いの持ち方について話し合いました。専門部部会(生活部・文化部・研修部)では、副部長を選出後、本年度の事業計画について協議しました。コロナウイルスの影響で、例年とは違う状況の中でどのように活動していくのか、意見を出していただきました。各活動が今までとは違う内容になることも予想されます。ご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

